整理	整理番号   49											
部	高 名	市民部			所』	属 名 文化・i	<b>青少年課</b>		所属	<b>禹長</b>	吉田 美紀	
事務署	事業名	00766	市展・	文化祭・写真展等	事業				記力	人者	河村 正人	
<1.	基本事	項>										
	区分	コード			名	称			+8	+bn	文化芸術振興基本法、大	
40 A = I	方針	02	自然、	歴史、文化、スポ	゚゚゚゚゚ーツを	重視し、多くの人	が集うまちを	創り	根 法令		津市美術、写真展覧会開 催規則	
総合計 画の位	政策	04	スポー	ツと文化で、生き	生きと	楽しむまちにしま	す		7	,	E 次[ 元]	
置付け	施策	02	文化・3	芸術に親しめる環	境づく	IJ			田中本	<b>+</b> 7	第2次大津市文化振興ビ	
	視点	01	文化・3	芸術の感動・創造	・交流				関連 個別		ジョン、第2次大津市文 化振興計画	
	重事	01	市民に	よる文化・芸術 <i>の</i>	振興			(E-77)				
887年	コード 事			事 務	事業名称:			Π-	- F	所属名称		
関連 事業												
7 215												
予	会	計	枠	事 業 種	事業種別 予算事業名					始 期 ・ 終 期		
算	一般	会計	特定	評価対象事業		市展・文化祭・	写真展等事業	費				
予算事業												
- 未												
											め、美術展覧会及	
事業の 概 要	ひ <del>り</del> 具だる。	氏見云 で	開催し	いる。また、台	子区のメ	くに団体や云州又	に団体が日土に	かり 一 用 1 隹 9 ′	る人化分	1-XI C	て補助を行ってい	
概要	U o											
運営		口 直営		指定管理者 🛘	民間委託	託 口出資団体	本委託 ■ 神	補助金交付	□ その	)他 (	)	
12	重業公:	#F\ [		J								

<u> </u>	
目 的	市民が自主的に展開している文化活動の成果を発表及び鑑賞する場を提供するとともに、市民の主体的な文化活
(何のために)	動を支援するため
対	市展・写真展:県内に在住、在勤、通学する高校生以上の者
(何又は誰を)	文化祭:学区文化協会及び芸術文化団体を対象に
手 段	市展・写真展:公募により作品募集を行い、入選作品を展示するとともに、優れた作品に対し、賞を授与し
(どのようなやり方で)	文化祭:地域や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対し補助金を交付し
成果 (どのような状態にするのか)	より多くの市民に文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自 主的な文化活動の活性化を図る。

#### <3. 経費> DO

<u> </u>	性負/ ひひ						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	VIEL 25
直接経費 A		7, 198	6, 705	6, 588	6, 885	6, 885	
人	、件 費 B	12, 606	6, 768	6, 956	6, 956	6, 956	
事業	費合計 A+B	19, 804	13, 473	13, 544	13, 841	13, 841	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源 内 訳	起 債	0	0	0	0	0	
r J H/C	その他	7, 198	6, 705	6, 588	6, 885	6, 885	地域振興基金
	一般財源	12, 606	6, 768	6, 956	6, 956	6, 956	
職	員数(人)	2. 14	1.44	1.46	1.46	1. 46	
III = *L	正規	1. 38	0. 64	0. 66	0. 66	0. 66	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
OF 10/C	臨 時	0. 76	0.80	0. 80	0.80	0.80	

		指 標 名 単 位 【目標・実績】平成28年度】平成29年度 平成30年度 平成31年度 令和 2年度											
		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度				
		募集要項・ポスター配布数	枚	目標	17, 300	17, 300	14, 700	12, 850	12, 850				
活動指	1		松	実績	17, 300	17, 300	14, 700	-	_				
動		市展・写真展に係る要項、ポスターの配布数											
指		補助金交付団体数	団体	目標	56	56	56	56	56				
標	2		四件	実績	52	49	47		_				
		文化祭開催に対する補助金交付団体数(文化祭実行委員会、芸術団体、地域文化団体)											
		出品数	点	目標	4, 500	4, 500	4, 500	4, 500	4, 500				
成果	1		从	実績	4, 104	5, 350	5, 114	ı	_				
果		市展・写真展・文化祭への出品数											
指		入場者数	ı	目標	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000				
標	<del></del> 2		^	実績	3, 733	3, 374	3, 086	-	_				
		市展・写真展・文化祭への入場者数											

事業を明 社会環境	取りまく 竟の状況	美術展、写真展の出 、写真展の出品数は	品や文化祭への参加は高齢者が多い。反面、働き盛りの世代や次代を担う子ども達の美術展 少ない。
これまで や改善等	の見直し 等の経過		術展・写真展は運営に民間ノウハウを活かすため実行委員会方式へと移行し、市民による文 た。また、美術展や写真展にU―30奨励賞を設けるなど若年層の参加促進を図った。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	_	ぎ妥当である まり妥当ではない	大津市文化祭、美術展・写真展は市民・事業者・市の三者協働による実行委員会形式で運営しており、実施主体等は妥当である。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あa	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	市展・写真展・文化祭の入場者は天候不順等で減少したものの、市展等への出品数は昨年度と同程度であった。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	□ A. 高ル ■ B. やか □ C. やか	や高い や低い	実行委員会方式で実施される当事業の経理基盤を支えるため、最小の経費の支出に抑える とともに効率的な運営に努めた。
総合評価		国どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	
	■ A. 貢献	献している	市民の主体的な文化活動へ支援を行い、日頃の活動成果を発表する場を提供することは、

施策への		市民の主体的な文化活動へ支援を行い、日頃の活動成果を発表する場を提供することは、   総合計画に掲げる「市民による文化・芸術の振興」につながり、貢献している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない □ D. 貢献していない	

<u> &lt;6. 今後</u>	<u> 後の方向性&gt; ACTIO</u>	) N			
	■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上で継続	( □ 2-1. 拡充・重点化	□ 2-2. 手段等の改善	□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合 □ 2-6.そ	-の他 )		
方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了(	) 口 5. 休止	□ 6. 廃止	
)) III) II			する場を提供し、文化芸術へ	の関心を高めるとともに	、市民の
	自主的な文化活動の活性化	を図っていく。			
	   羊術展・写直展片   宝行季	員会による運営 連続開催	若年層向けの賞の新設など、	効率的な手法や参加促進	<u>መተ-አ</u> ነው
部局長			石平層時代の員の新成なと、   化に親しめる場を提供できる		
		計画に掲げる施策の推進に努		いって、かについる人が正りつると	.1220

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	91. 20 %	118.88 %	113.64 %
達成率	指標2	74.66 %	67.48 %	61.72 %
成 果	指標1	- %	+30.36 %	-4.41 %
増減率	指標2	- %	-9.61 %	-8.53 %
活動単位	指標1	1 千円	0 千円	0 <sub>千円</sub>
コスト	指標2	380 千円	274 千円	288 <sub>千円</sub>
成果単位	指標1	4 <sub>千円</sub>	2 <sub>千円</sub>	2 <sub>千円</sub>
コスト	指標2	5 千円	3 千円	4 <sub>千円</sub>
コスト増	減率	- %	-36. 26 %	+7. 53 %

				_ 平成3	1年月	塻	事務	争	<b>茉評</b> (	曲シー	-		[平成	30年度事	<b>事後評</b> 価	<u> </u>
整理	番号	5	50													
部	高 名	市民部			所属	<b>属名</b>	文化・ <sup>-</sup>	青少年	課		所「	属 長	吉田	美紀		
事務事	事業名	00767	花登筐文芸奨励事業 記入者 河							河村	正人					
<1.	基本事	項>														
	区分	コード			名		称				#8	拠	文化	<b>芸術振興基</b>	基本法	
<b>6</b> 0 Λ =1	方針	02		歴史、文化、スポ					まちを創	削り		令等				
総合計 画の位	政策	04	スポー	ツと文化で、生き	生きと楽	きしむま	きちにしま	きす								
置付け	施策	02		芸術に親しめる環		J									と化振興と マ大津市文	
	視点	01		芸術の感動・創造								計画		ノ、第2の 興計画	ヘチョス	,
	重事	01	市民に。	よる文化・芸術の												
関連	事務事業名称						Π-	ード		所 属	名 称					
事業																
													<u> </u>			
予		計	枠	事業種			Ē	71	•	名			始	期・終	期	
算 事	一般	会計	管理	評価対象事業		花登筐	文芸奨励	事業費								
争業																
	++111	1 A EU /E	<u> </u>	<u> </u>	日本立ノ	主心左	0 <del>1</del> # 17	<b>エレナ 1</b> 107	C1 7 -1	<del>и</del>	60 t Z	<u></u>	原毛ル	□ + <del>= =</del> /-	+	
		ぶ市出身の劇作家「花登筐」氏の業績を顕彰し、青少年の文芸活動を奨励するため、文芸作品を募集し、優秀作品を表彰す いと共に優秀作品集を発刊する。(昭和61年から実施)														
事業の 概 要		成25年度より文芸奨励基金の原資を取り崩して事業を実施している。														
恢 安																
<b>油料</b>	<u> </u>	_ +	<del>-</del> -	******	口服手衫		a di Mercal	<b>リエ</b> チ		마스소기		5 /ul- /				_
	方 法 事業分	■直営	PLAN		民間委託	t L	〕出資団(	<b>本</b> 安託	□ 柵.	助金交付	⊔ <del>₹</del> 0	り他(				)
		-, -		N の文芸活動を奨励	するため											_
	可のため	-	ну т	クスム/I 幼 と 天臓	17 0120.	,										
	·10//こなが 対	•	市内に	在住又け在学して	いる小堂	生 ( 4	L ~ 6 年 4	=) d	20世 12	は松生を対	多に					-
	対 象 市内に在住又は在学している小学生(4~6年生)、中学生、高校生を対象に (何又は誰を)															
	手 段 広報おおつへの掲載や各学校の夏季休暇の課題等協力依頼により、作文、随筆、演劇シナリオ、小説の別に作品									に作品						
(どの。	ようなやり	/方で)	を募集	し、優秀作品を表	彰すると	こともに	二、優秀作	F品集を	E発刊する	ることによ	Ŋ					
	成果青少年の文芸に対する親しみを深め、創作意欲を高めて文化振興への若い息吹きを育てていく。									_						
(どのよう	うな状態に <sup>・</sup>	するのか)														
<3.	経費>	DO			·	·	·		·	·	·	·	·	·		

<u> </u>	性長/ ひし						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	ν <del>ιιι</del> 'Ο
直	接経費 A	255	266	255	267	267	
人	、件 費 B	425	632	636	636	636	
事業	費合計 A+B	680	898	891	903	903	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源 内 訳	起債	0	0	0	0	0	
P 3 E/C	その他	255	266	255	267	267	
	一般財源	425	632	636	636	636	
職	員数(人)	0. 16	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	
TW 무 %6	正規	0. 02	0. 04	0. 04	0.04	0. 04	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0. 00	0.00	0. 00	
O 1 1 1 1 1 (	臨時	0. 14	0. 16	0. 16	0. 16	0. 16	

		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度					
		作品募集依頼学校数	校	目標	71	71	71	71	71					
活動指標	1		ťΧ	実績	71	71	71	_	-					
動		市内小・中・高等学校数												
指揮		作品募集対象児童・生徒数	ı	目標	30, 000	30, 000	30, 000	30, 000	30, 000					
悰	2		^	実績	30, 672	30, 982	30, 125	-	_					
		市内小学校 (4~6年生) 児童数、中・高等学校生徒数												
		作品応募数	点	目標	350	350	350	350	350					
战	1		爪	実績	307	435	291	-	_					
成果指標		応募のあった作品数												
指揮		作品応募率	%	目標	1. 1	1.1	1.1	1.1	1. 1					
悰	2		70	実績	1	1.4	1	_	_					
		応募作品数/市内の小(4~6年)・中	・高の児童生徒数×	100			•							

事業を明 社会環境	取りまく 竟の状況	情報技術の発展によ 常に重要である。	情報技術の発展により青少年の活字離れが進んでいる。そのような中、青少年の創造性や思考力を育むことは非 常に重要である。						
	の見直し 等の経過	当事業は花登筺氏の	冠事業であるため、表彰式では、花登筺氏を若い世代に周知するための工夫を行っている。						
項目別評価	評	価	評 価 理 由						
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	_	ぎ妥当である まり妥当ではない	本市出身の花登筺氏からの基金を活用して市が主催で実施しており、実施主体等は妥当である。						
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あま	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	今年度は、成果指標である応募数は目標を下回ったが、児童・生徒の文芸活動を奨励し、 創作意欲を高めている。						
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高ル □ B. やt □ C. やt	o高い o低い	最小限の経費で実施するとともに、夏休みの課題として取り組んでもらえるよう広報活動 の時期を工夫し応募数の増加に努めており、事業の効率性も高い。						
総合評価		■どおり事業を進める ≹規模や見直しが必要							
	□ A. 貢献	<b>状している</b>	青少年が賞を励みに創作活動に取り組んだり同年代の優秀作品を見聞きする機会を提供す						

4 - 4 //	·	
	□ D. 貢献していない	
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
施策への	■ B. やや貢献している	ることで、総合計画に掲げる「文化・芸術に親しめる環境づくり」に寄与している。
		育少午か員を励みに創作活動に取り組んだり同年代の優秀作品を見闻さりる機会を提供り

< 6. 今後	MODITION ACTION
方向性	□ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他 ) ■ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 ( □ 5. 休止 □ 6. 廃止 本事業は青少年が文芸活動を通じて学び創作する場を提供する事業として定着している。しかしながら、文芸奨励基金残高が減少し事業が実施できなくなるため、事業終了も含め今後の方向性について、学校に丁寧に説明し意見を求めていく。
部 局 長コメント	本事業は本市出身の劇作家の功績を顕彰するとともに、青少年が文芸活動に取り組む機会を提供しており、総合計画に 掲げる施策の推進を図るものであるが、今後の事業の方向性については、事業終了も含め、実施対象である学校から意 見等を充分に聞き取ること。

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標	指標1	87.71 %	124. 28 %	83.14 %
達成率	指標2	90.90 %	127. 27 %	90. 90 %
成果	指標1	- %	+41.69 %	-33.10 %
増減率	指標2	- %	+40.00 %	−28. 57 <b>%</b>
活動単位	指標1	9 <sub>千円</sub>	12 千円	12 <sub>千円</sub>
コスト	指標2	0 <sub>千円</sub>	0 <sub>千円</sub>	0 千円
成果単位	指標1	2 <sub>千円</sub>	2 <sub>千円</sub>	3 <sub>千円</sub>
コスト	指標2	680 千円	641 千円	891 <sub>千円</sub>
コスト増	減率	- %	-6. 23 %	+43.60 %

#### 亚出21年中 東敦東要型研》。

				_ 半成の	干及	争獲	争来評価	ソート	•	[平成30	年度事後評価」
整理	番号	5	51								
部局	高 名	市民部	所属名 文化・青少年課						属長	吉田	<b>美紀</b>
事務事			スカイ	プラザ浜大津管理運	営事業			記	入者	河村 I	E人
<1.	基本事	項>									
	区分	コード		名 称						大津市2 津条例	スカイプラザ浜大
60 A -1	方針	02	自然、	歴史、文化、スポー	ツを重視	し、多くの丿	、が集うまちを創り	1	艮 拠 去令等	<b>洋</b> 余例	
総合計 画の位	政策	04	スポー	ツと文化で、生き生	きと楽し	むまちにしま	ます しゅうしゅう	<u> </u>	12 13		
置付け	施策	02	文化・	芸術に親しめる環境	づくり			BE	いまナフ		大津市文化振興ビ
	視点	01	文化・	芸術の感動・創造・	交流				連する  別計画	ンョン、 化振興記	第2次大津市文 +画
	重事	01	市民に	よる文化・芸術の振	興				,,,,,,,	ווייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	
田本	П	ード		事	務事	業名称	7	:	コード		所属名称
関連 事業											
7 514											
予	会	計	枠	事業種別		3	写 事 業 名			始 期	· 終期
算	一般	会計	管理	評価対象事業	スカ	コイプラザ浜	大津管理運営事業費	}			
事業											
未											
	音楽・活を行う。		他市民の	D文化芸術活動の練習	習、発表 <i>0</i>	)場となる拠	点施設として、市民	にとって利	用しやす	い施設の	管理運営
事業の	を11フ。										
概要											
	方法	口 直営			間委託	□ 出資団	本委託 □ 補助金	交付 口 る	その他(		)
	事業分	-, -	PLAN	-							
	目 的	•	音楽や	演劇を通して行われ	る市民の	文化芸術活動	加の振興を凶り、市民	まに親しみっ	やすく文1	ヒ沽動の拠	点となるため
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	可のため	•									
	対		利用者	を対象に							
	可又は誰			. 1)							
	手 段	•		ングルーム "響』等 でま足の文化芸術活							の場を提供す
(どのようなやり方で) ることで市民の文化芸術活動の拠点としての機能を充実させ、市民の多彩な文化活動を支援する。											

# (どのような状態にするのか) <3. 経費> DO

成 果

<u> </u>	性負/ ひひ						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	IIII ~ ~
直	[接経費 A	31, 411	28, 359	29, 378	27, 724	25, 702	平成19年度指定管理者制度開始
人	、件 費 B	2, 025	902	902	902	902	
事業	費合計 A+B	33, 436	29, 261	30, 280	28, 626	26, 604	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源 内 訳	起債	0	0	0	0	0	
P J B/C	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	33, 436	29, 261	30, 280	28, 626	26, 604	
職	員数(人)	0. 25	0. 11	0. 11	0. 11	0. 11	
III 등 왕년	正規	0. 25	0. 11	0. 11	0. 11	0. 11	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
ひからずかく	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

利用者が増加し、市民の交流の促進が図られ、幅広い世代の市民に親しまれる施設となる。

	T .	117 年 夕	単 位	口描字结	平成28年度	亚成20年度	立成30年度	平成31年度	令和 2年度
		指標名	平 匹	H DA STOR					
		利用日数	日	目標	302	302	302	302	302
活	1		1	実績	303	304	307	-	-
活動		利用日数							
指		自主事業開催数		目標	22	22	22	22	22
標	2		囙	実績	12	34	17	-	-
		自主事業開催数(共催も含む)							
		スタジオ等利用件数	件	目標	7, 200	7, 200	7, 200	7, 200	7, 200
成果	1		IT	実績	7, 539	6, 993	7, 141	-	-
果		スタジオ等利用件数							
指		自主事業参加者数	1	目標	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000
標	黑 2		^	実績	5, 596	3, 282	2, 692	_	-
		事業参加者数		·				•	

事業を明 社会環境	メツムヽ	音楽、演劇など市民	の文化芸術活動の拠点施設として気軽に利用できるため、年々、ニーズは高まっている。
これまで や改善等			要望に対応できるよう工夫することや、近江の春(旧ラ・フォル・ジュルネ)関連イベント 楽祭に参画していくことを指定管理者に求めた。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)		ぎ妥当である まり妥当ではない	市が実施主体であることで、低廉な価格で幅広い世代に利用され、活発に文化活動が行われていることから、妥当である。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あa	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	工事でスタジオを一定期間閉鎖したことや、自主事業の精査を行った結果、自主事業参加 者数は減少した。しかしながら、全体の利用者は依然として多く、スタジオ等利用件数は 昨年度を上回り、有効性は高い。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高U □ B. やt □ C. やt	o高い o低い	指定管理者の民間ノウハウを活用した事業を展開するとともに経費の縮減に努めており、 事業手法の効率性はやや高い。
総合評価		回どおり事業を進める 美規模や見直しが必要	
	<b>■</b> ∧ ਨੂੰ	- 1 - 1 · 7	

施策への	ロロ めめ貢献している	多様な文化活動の場、人と人との交流の場として、文化振興に寄与するとともに、近江の春(旧ラ・フォル・ジュルネ)等の大型事業とタイアップした事業は中心市街地の活性化にも繋がっており、総合計画に掲げる「文化・芸術に親しめる環境づくり」に大きく貢献している。
	口 ひ、食脈じていない	

	D. AWOCA
< 6. 今行	後の方向性> ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他 ) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了( ) □ 5. 休止 □ 6. 廃止 今後も、利用者が増加し、市民の交流の促進が図られ、幅広い世代の市民に親しまれる施設となるよう指定管理者と協議し指導していく。
部 局 長コメント	指定管理者の民間ノウハウを活かした効率的な運営により、高い水準の稼働率を維持し、より多くの市民が気軽に親しめる文化活動の拠点となっている。引き続き、魅力ある事業を実施し、市民の文化交流が促進されるよう努められたい。

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標	指標1	104. 70 %	97.12 %	99.18 %
達成率	指標2	111.92 %	65. 64 %	53.84 %
成果	指標1	- %	−7. 24 <b>%</b>	+2.11 %
増減率	指標2	- %	-41.35 <b>%</b>	-17. 97 <b>%</b>
活動単位	指標 1	110 千円	96 千円	98 千円
コスト	指標2	2, 786 <sub>千円</sub>	860 千円	1,781 <sub>千円</sub>
成果単位	指標 1	4 <sub>千円</sub>	4 <sub>千円</sub>	4 <sub>千円</sub>
コスト	指標2	5 千円	8 千円	11 千円
コスト増	減率	- %	+21.78 %	+13. 74 %

<b>全</b> 坦	番号	(	02										
部)	局 名	市民部		所属名 文化・青少年課					所原	<mark>禹長</mark> 吉	田美紀		
事務	事業名	00776	大津市民会館管	理事業	<b>里事業</b>					記入	人 者 河	村 正人	
< 1.	<1. 基本事項>												
	区分	コード			名		称				大	津市民会館条	例
	方針	02		7化 スポ	_	<u>- 1</u> ーツを重視し、多くの人が集う			LJ	根	拠		
総合計	政策	04	スポーツと文化					ノみりで点	1 7	法令	等		
画の位	17.111										尓	2次大津市文	ル 拒 囲 ビ
置付け	施策	02	文化・芸術に新			<i>'</i>				関連 <sup>·</sup>		ョン、第2次	
	視点	01	文化・芸術の恩							個別	計画化	コン、ポング 振興計画	<b>77</b> 4117
	重事	01	市民による文化	∠・芸術の	振興								
田市		ード			事 務	事 業 名	称			П	- ド	所属名	3 称
関連 事業													
4-2/0													
予	会	計	<u></u> 枠 및	事業 種	別		予算	事 業	名			始期 • 終	期
算	一般	会計	管理 評価対	象事業		市民会館管	理運営事	業費					
事						11-22211	<u> </u>	10,50					
業													
	引き続き	き指定管	理者のノウハウ	を活用し	た適正な	運営に努め	るととも	二 市民主	体の文化	化芸術活動	を促進し	文化芸術に触	1
NIC -			提供を目的とす		/ C / C III · O	· E	wcc 0.	-( 1).201	PT-07 / 1	10 ZA 1117 12 291	e ikke o (	X 10 22 Fi 11 - 72	`
事業の													
概要													
		_											
	方 法	□ 直宮	営 ■ 指定管	理者 口	民間委託	毛 口出資	<b>聲団体委</b> 語	£ 口補	助金交付	寸 🗆 その	他 (		)
<u>&lt;2.</u>	事業分	析>	PLAN										
	目 的	<del>)</del>	市民の文化・教	養の向上	と福祉の	の増進を図る	ため						
<b>(</b> 1i	可のためI	( <b>=</b> )											
	対 象	<b>?</b>	市内外を問わな	い施設利	用者を対	対象に							
( <b>1</b> i	可又は誰	を)											
	手 段	ī.	効果的、効率的	な自主事	業の展開	開および、会	館内の施	設・設備 <i>の</i>	適切な	管理運営を	行うことに	こより	
	ようなやり												
	成 果		多くの市民や文	7化•草绿	団体の類	11田促進を図	ストレキ	に 草紙性	の高い	発表 • 鑑賞	の場を提供	出 文化情報	R発信
	うな状態にす		及び文化交流の			1711 KCZE C E		1-( 241112	-07 [2]	70°9X = 111.5	اعداد المدادة	, O, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	K)UIII
<u> </u>	経費>	DO			0 <del>/</del>	<del></del>	÷	<u>+01                                    </u>		- 0 <i>-</i>			
			平成28年度 平成29年度						2年度		備考		
			決算額(千円)		注(千円) 決算額(千円)		円) 予算			額(千円)	)		
	接経費		60, 873	3	57, 551	58,	561	57, 544	ŀ	57, 383	平成20年	指定管理者制	度開始
人	、件 費	В	2, 025	5	1, 230	1,	230	1, 230		1, 230			
事業	費合計 4	4 + B	62, 898	3	58, 781	59,	791	58, 774	l l	58, 613			
	[	玉	(	)	0		0	(	)	0			
事業費	ļ	<del></del>	(		0		0	(		0			
の財源	起	債			0		0	(	+	0			
内 訳		<u>の</u> 他			0		0	(		0			
		財源	62, 898		58, 781	50	791	58, 774	1	58, 613			
職		(人)		+					<del>-</del>				
400	員 数		0. 25		0. 15		0. 15	0. 15	_	0. 15			
職員数	正	規	0. 2		0. 15		0. 15	0. 15	1	0. 15			
の内訳	嘱	託	0. 00		0.00		0. 00	0.00	)	0. 00			
	臨	時	0. 00	)	0.00	(	0. 00	0.00	)	0.00			
< 4.	指標>	DO											
		指	標名		単	位	目標・実	[績] 平成28	年度 平	成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
	利用件数	数				tal.	目標		300	300	30	0 300	300
ı <del></del> 1						件	実績		250	276	29	1 -	_
活 動	<b>大・小</b> 7	ホールの	利用件数				人假					ļ	
<u></u> 指			11/1/11/30						000	117 000	117, 00	0 117, 000	447.000
土西	<del>  1</del>						117				117.000		
2   実績   110, 203   124, 768   93, 404						人	目標	117		117, 000			117, 000
2			Maria	I Mer		人				124, 768			117,000
2	大・小石	ホールの	催しに来場した	人数		人			, 203	124, 768	93, 40	4 –	_
2		ホールの	催しに来場した	人数								4	117, 000
2	大・小が会館利用	ホールの 用率				%	実績目標実績	110	, 203	124, 768	93, 40	8 48	_
成 1	大・小が会館利用	ホールの 用率	催しに来場した 数÷大ホール貸		数(点検	%	実績目標実績	110	48	124, 768 48	93, 40	8 48	_
2	大・小が会館利用	ホールの 用率 ル利用件			数(点検	%	実績目標実績	110	48	124, 768 48	93, 40	4 – 8 48 3 –	_

101.9

実績

113. 2

74. 9

今年度来場者数÷前年度来場者×100

2

事業を耳 社会環境	X y & \	市民の価値観が多様 できる場が必要であ	化する中、市民による主体的な文化芸術活動の発表の場や、ニーズに応じた文化芸術が鑑賞 る。
これまで や改善等	ソ 元 巨 し		管理者が交替した影響により初年度は会館利用率が落ち込んだことから、指定管理者に対す を強化し利用率改善のための協議を重ねた。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当 □ B. ほぼ □ C. あま	   妥当である   り妥当ではない	市が実施主体であることで、低廉な価格で幅広い世代に利用され、活発に文化活動が行われていることから、妥当である。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)		シ上がっている :り上がっていない	近隣施設との役割のすみ分けを意識し芸術性の高い事業を実施している。来場者数は減っているものの、これは工事のために小ホールを長期間閉館したためであり、有効性は高い。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	□ A. 高い ■ B. やや □ C. やや	高い M低い	指定管理者の民間ノウハウを活用するとともに経費の縮減に努めており、事業効率性は高い。
総合評価		「どおり事業を進める 規模や見直しが必要	
	■∧音数	:1 TIV2	市民の幅広いジャンルの文化芸術を発素・鑑賞できる場を提供  ており   木市の文化振翔

	■ A. 貢献している	市民の幅広いジャンルの文化芸術を発表・鑑賞できる場を提供しており、本市の文化振興  の拠点として、総合計画に掲げる「文化・芸術に親しめる環境づくり」に貢献している。
施策への	□ B. やや貢献している	の拠点として、総合計画に掲ける「文化・芸術に親しめる環境つくり」に貢献している。 
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

< 6. 今征	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他 )
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 ( ) □ 5. 休止 □ 6. 廃止
力问任	今後も多くの市民や文化・芸術団体の利用促進を図るとともに、芸術性の高い発表・鑑賞の場を提供し、文化情報発信 及び文化交流の拠点となるよう指定管理者と協議し指導していく。
部 局 長 コメント	指定管理者の民間ノウハウを活かした効率的な施設運営を図るとともに、第2次文化振興計画に掲げる回遊型コラボレーション事業の実施にも取り組まれた。引き続き、文化芸術の拠点施設として、市民の文化・教養の向上のため、魅力ある事業の展開に努められたい。

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
目 標	指標1	83. 33 %	98.12 %	127. 70 %		
達成率	指標2	101.90 %	113. 20 %	74. 90 %		
成 果	指標1	- %	+17.75 %	+30.14 %		
増減率	指標2	- %	+11.08 %	-33.83 %		
活動単位	指標1	251 千円	212 千円	205 <sub>千円</sub>		
コスト	指標2	0 <sub>千円</sub>	0 <sub>千円</sub>	0 <sub>千円</sub>		
成果単位	指標1	1,572 <sub>千円</sub>	1,248 千円	975 千円		
コスト	指標2	617 壬円	519 千円	798 <sub>千円</sub>		
コスト増	減率	- %	-18. 25 %	+15.94 %		

				<u> </u>	成31年月	度 事務	事業評価	<b>5シート</b>		「平成30年度事後評	価1	
整理	番号	5	i3			~						
部	局 名	市民部			所属	<mark>くる</mark> 文化・青	<b>予少年課</b>	所	属長	吉田 美紀		
1 111	事務事業名     00778     文化振興事業     記入者     河村 正人											
<1. 基本事項>												
区分 コード 名 称								坦	拠	文化芸術振興基本法		
総合計	方針	02				望視し、多くの人			令等			
趣合計画の位	政策	04			-,	<b>美しむまちにしま</b>	<u>す</u>					
置付け	施策	02			しめる環境づくり	)		する	第2次大津市文化振興 ジョン 第2次大津市			
	視点	01			動・創造・交流				計画	化振興計画	^	
	重事	01	市民によ	る文化	・芸術の振興	<del>-</del>			18			
関連		ード			事 務	事業名称			ード	所属名称		
事業												
		計	枠	市	業 種 別	코	算事業 ※	<i>A</i>		出		
予		会計		評価対象			异 尹 未	<u>台</u>		炉 期 ・ 於 期		
算 事	河又	本司	以來	計画刈る	(尹禾	文化振興事業費			1			
業												
	「大津市	<b>方文化振</b>	興計画!	に基づき	・、湖都文化の総	合的な文化振興(	の施策を推進する	ため、身近なる	て化の創	造の場をつくり、	ㅡ	
事業の	誰もが参	参加しや	すい機会	を設ける	らことにより、人	と人との交流を	生み、地域の活性	ŧ化に大きな役割	引を果た	:すよう努める。		
概要			主的に展 等を行っ		いる文化活動への	支援として、文化	化連盟などの団体	*に対する補助会	金の交付	や、申請に基づく		
	区及口引	え。マンナい山い	46112									
運営	方 法	■ 直営	<b>f</b> $\Box$	指定管理	理者 □ 民間委託	€ □ 出資団体	本委託 ■ 補助	〕金交付 □ その	の他(		)	
<2.	事業分	析> F	LAN									
	目 的	j i	市民が自	自主的に	展開している文化	<b>Ľ活動を支援する</b>	ために					
<b>(</b> 1i	可のため	(C)										
	対 象	₹	団体及び	が市民等	を対象に							
्रीं	可又は誰	を)										
	手 段		文化連盟 付を行し		化活動に対して補	<b>捕助金等を交付す</b>	るとともに、文化	化の催しに対す	る後援名	呂義の使用承認や賞の交		
	ようなやり											
	成 果		目主的な	文化活	動の促進、充実を	と図る。						
	うな状態に											
< 3.	経費>	DO	- 100	<u> </u>	- "	- "	- : : : I	A 5- 0				
			平成2		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		備考		
	+立47 建		決算額		決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)				
	接経費			4, 666	2, 633	2, 118	2, 270	2, 270				
	、件 費 費合計 <i>/</i>			8, 577	5, 709	6, 227	6, 227	6, 227				
事果:		到 女 十 B		13, 243 0	8, 342 0	8, 345 0	8, <b>4</b> 97	8, 497				

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	VIII 45
直	接経費 A	4, 666	2, 633	2, 118	2, 270	2, 270	
人	、件 費 B	8, 577	5, 709	6, 227	6, 227	6, 227	
事業	費合計 A+B	13, 243	8, 342	8, 345	8, 497	8, 497	
	国	0	0	0	0	0	
事業費 の財源	県	0	0	0	0	0	
の財源内訳	起債	0	0	0	0	0	
1 3 H/C	その他	1	1	341	601	1	雑入、湖都大津まちづくり寄附金
	一般財源	13, 242	8, 341	8, 004	7, 896	8, 496	
職	員数(人)	1. 75	1. 38	1.44	1.44	1. 44	
Deb = ***	正規	0. 85	0. 49	0. 55	0. 55	0. 55	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
O 1. 10/C	臨時	0. 90	0. 89	0. 89	0. 89	0.89	

		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
		共催・補助事業数	事業	目標	6	6	6	6	6	
活動指	1		<b>学</b> 未	実績	6	6	6	-	-	
動		文化活動等に対する共催・補助事業数								
指標		後援名義使用承認及び賞交付件数	件	目標	175	175	175	175	175	
標	2		IT	実績	164	149	156	-	-	
		後援名義の使用承認数(及び賞を交付し	た件数)		,					
		共催・補助した文化活動(催し等	ı	目標	35, 000	35, 000	35, 000	35, 000	35, 000	
ᄨ	1	)への参加者数	^	実績	39, 460	31, 574	43, 857	1	1	
成果		補助した団体等が行っている文化活動(	催し等)の参加者数		,					
指		後援した文化・芸術事業への参加	1	目標	172, 000	172, 000	172, 000	172, 000	172, 000	
標	2	者数	^	実績	123, 467	159, 207	126, 767	_	_	
		後援名義の使用を承認した催し等の入場	者数							

事業を 社会環境		核家族化・共働き世 きている。	帯の増加、高度情報化により、働く世代や子ども・若者の文化活動への参加が難しくなって
			援を許可した文化事業を掲載し、働く世代や若年層への情報発信に努めている。また、第2 づく新たな事業の実施にも努めた。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	_	ぎ妥当である まり妥当ではない	市民の主体的な文化活動に対して市が支援し、文化活動の裾野を広げることに繋がったため妥当である。
有 効 性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あa	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	市が後援した市民による多様な文化活動の参加者数は昨年度に比べ減少しているものの、 共催・補助した文化活動への参加者数は増加しており、有効性は高い。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高U □ B. やり □ C. やり	や高い や低い	市民の主体的な文化活動に対し市が側面的に支援し、直接経費の縮減にも努めたため効率 性は高い。
総合評価		国どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	
	■ ∧ 青盏	計している	市民の主体的な文化活動を支援することで市民文化の委り豊かなまなづくりに客互  てお

700 X	■ A. 貢献している	市民の主体的な文化活動を支援することで市民文化の香り豊かなまちづくりに寄与してお
	□ B. やや貢献している	り、総合計画に掲げる「市民による文化・芸術の振興」にも貢献している。
	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

< 6. 今後	後の方向性> ACTIC	N					
	■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの	)上で継続 (	□ 2-1	. 拡充・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合	□ 2-6. その他	)			
方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了(		)	□ 5.休止	□ 6. 廃止	
73 11 12	引き続き、市民による文化 業として各文化施設をつなめて行く。						
部局長コメント	引き続き、市民による文化 業等の充実を図り、総合計画						ション事

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
目 標	指標1	112.74 %	90. 21 %	125. 30 %		
達成率	指標2	71.78 %	92. 56 %	73. 70 %		
成 果	指標1	- %	-19.98 %	+38.90 %		
増減率	指標2	- %	+28. 94 %	−20. 37 <b>%</b>		
活動単位	指標1	2, 207 <sub>千円</sub>	1,390 千円	1,390 <sub>千円</sub>		
コスト	指標2	80 千円	55 千円	53 千円		
成果単位	指標1	0 <sub>千円</sub>	0 <sub>千円</sub>	0 <sub>千円</sub>		
コスト	指標2	0 <sub>千円</sub>	0 <sub>千円</sub>	0 <sub>千円</sub>		
コスト増	減率	- %	-36. 20 %	-1.17 %		

惠	隆理	番号	5	56														
部	尼	る 名	市民部				所属	<mark>属名</mark> 市區	民文化	<b>公会館</b>			所原	<mark>禹長</mark> 高	高野早	人		
事	務事	業名	00773	市民文化	化会館管理	里運営事	業						記り	<mark>人者</mark> 和	印田	光生		
< 1		基本事	頁>										•	-				
		区分	コード				名		称					Ī	市民文	化会館の	没置及7	び
		方針	02		萩中 女4	ヒスポ		重視し、多く		が焦うす	よを創!	LI	根		き理に	関する条件	列	
総合	計	政策	04					Eno、タ、 そしむまちに			( ) C (A)	_	法令	等				
画の	位								しょ	9				_	<b>-</b> :++	文化振興	٠ - ١٠	
置付	け	施策	02		芸術に親し			)					関連			文化振興		/
		視点	01		芸術の感動								四月 個別		\\\	人心派共	11 🖭	
		重事	01	市民に。	よる文化													
88 17	#	П	ード				事 務	事 業 名	称					ード		所属名	称	
関連事業																		
77	^																	
予		会	計	枠	事	業種	別		予	算 事	事 業 4	名			始其	y · 終 j	胡	
算		一般	会計	管理	評価対象	事業		市民文化会館	能管E	里運堂事	業費							
事								112071027	иц ц	<u> </u>	<i>&gt;</i> (36							
業																		
		市民が個	ま料金で	安全かつ	)快適に文	化活動:	ができる	よう、施設の	の管E	里運堂等	を行って	1.1.2	\					—
<del>+</del> **		112 2073 15	34112	A = " -	7,721-7	(10/030)			-,	1,50	2112	. • •	, 0					
事業 概	の声																	
1136	女																	
\	22/			- v	16-2	n +v =			· ·	<b></b>		<u> </u>	= -					<u> </u>
_			■直営		指定管理	望 □	民間委託	f 口出資	<b>貸団体</b>		□ 補助	金交	付 □ その	他(				)
< 2		事業分		PLAN		- 15 /- 15												
		目 的	]	市民に	文化活動(	か場を提	供する	−方で、生涯	字習	の活動に	こも寄与す	<b></b> する。						
	(何	JのためI	<b>こ</b> )															
	3	対象	Į.	市民一組	般及び各種	重文化団	体・サ-	-クル等										
	(何	又は誰	を)															
	3	手 段	į.	低料金	で安全かつ	つ快適に	文化活動	ができるよ	う、	施設の管	理を行う	วิ。						
نغ)	<b>。</b> の 』	ようなやり	)方で)															
		<del></del> 成  果		市民の	文化の拠り	点施設と	して、市	「民を中心と	した	文化振卵	具活動が。	よりき	舌発となるよ	こう推進す	<sup>-</sup> る。			
ره نع)	)よう	な状態にす	するのか)															
		経費>	DO															
$\stackrel{\sim}{\sim}$	Ė	11.人		亚战?	28年度	平成2	0 年 度	平成30年月	<b></b>	立成な	1年度	숙	和 2年度					
					(千円)	決算額						福 2千及 N額(千円)		備	考			
	古	接経費	$\overline{}$	八开山		八开识	,			丁开识		96.8						
					10, 694		9, 625		951		9, 060		9, 780					-
		件費			10, 618		10, 755		191		9, 683		9, 683					
<del>_</del>	· 美多	貴合計 4			21, 312		20, 380	18,	142		18, 743		19, 463					
NI	-#5		E		0		0		0		0		0					
事業の財	貨源	Ì			0		0		0		0		0					
事業の内	訳	起	債		0		0		0		0		0					
	\	その	の他		5, 007		5, 054	4,	601		4, 068		4, 100					_ ]
		一般	財源		16, 305		15, 326	13,	541		14, 675		15, 363					
ಾ	哉 .	員 数	(人)		2. 78		2. 78	2	2. 72		2. 78		2. 78					一
		正	規		0. 51		0. 51		). 45		0. 51		0. 51					$\neg$
職員の内	数	嘱	託		2. 00		2. 00		1. 00		1.00		1. 00					
の内	川武	臨	時		0. 27		0. 27		1. 27		1. 27		1. 27					
< 4		指標>	DO		V. 21		V. L1		/1		1.21		1. 21					
		191本/		+西	D		単	位	D +m	・実績	平成28年	E度	平成29年度	平成30年	度亚	成31年度	令和 2	)在庫
	<u> </u>	貸室利用	指 F件数	標	名		+	12				900	900		00	900	137H Z	. <del>- /又</del> ∩
		スエハバ						件数		目標		890	793		06	300		-
活	1	4 D 4		△詳ウ	和中の5	- 88 20 07	IH *H		}	実績		บชบ	193	8	VV			$\dashv$
動		多日的7	トール・	去讓至 •	和室の年	-间利用	计数		1			<del></del>			1	<del></del>		
押										目標		<b>-</b>						
12K	2								9	実績		$\perp$						
		400 - 1																
		貸室利用	月件数目	標達成率	<u> </u>			%		目標	·	100	100		00	100		0
БÜ	1							/U	3	実績		99	88		90			=
果		貸室利用	月件数 (	実績):	-貸室利用	件数(	目標)											
指										目標		$\neg$						
10								· ·	,	コリホ	•					b		
活動指標   成果指標	2									実績		$\dashv$			+			

事業を 社会環境			市民団体の芸術文化活動(ダンス・書道・絵画等)をはじめ、市民の自発的活動は活発であり、文化会館の高い 稼働率がそれを物語っている。また、市の公的な会議の会場としても利用されている。							
これまで や改善等	ど、光熱水費の削減に努めている。29年度まで嘱託2名であったところを、1名を臨時職									
項目別評価		評 価	評 価 理 由							
妥当性		妥当である ほぼ妥当である	ダンスや書道・絵画・音楽など市民の多様な文化活動に応え、市役所に近いことから行政 の会議にも適当な場所として利用されており、市が主体的に運営することは妥当である。							
(実施主体又は手段は妥当か)	_	あまり妥当ではない								
	□ D.	妥当ではない								
有效性	_	上がっている	多目的ホールは高い稼働率を維持しており、施設の有効性を示している。							
(事業分析の 「成果」欄に		やや上がっている								
記載の成果は上がっている	_	あまり上がっていない								
か)	□ D	上がっていない	 							
効率性		高い やや高い	安心して利用できる環境を整えるように努めている。							
(事業手法は効 率的である	_	やや低い								
か。)	□ D.	低い								
総合評価	<b>1</b> .	計画どおり事業を進める	□ 2. 事業の進め方に改善が必要							
心口田田	□ 3.	事業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要							
	_	貢献している	市民の自発的な文化活動を支えるとともに、行政の会議にも利用されており、行政の情報 発信の場としても貢献している。							
施策への		やや貢献している	DIN OF ORDING CO. DO							
貢献度	_	あまり貢献していない								
	_ D. :	貢献していない								

# □ D. 貢献していない

< 6. 今後	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他 )
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 ( ) □ 5. 休止 □ 6. 廃止
77 P. II.	市役所に近いことから、公的会議の場として有効な施設である。また市民の活発な文化活動を支える場として、今後もより利用しやすい環境を維持し、さまざまな活動に貢献できるように努める。
部局長	多目的ホールを中心に、稼働率は安定しており、市民の多様な文化活動を支える施設として定着している。とくにスポーツ系の活動では、市民の健康維持にも役立っている。今後も幅広い世代がさまざまな活動を展開できるよう、施設の 管理に努める。

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	99.00 %	88. 00 %	90.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	-11.11 %	+2. 27 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	23 <sub>千円</sub>	25 <sub>千円</sub>	22 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	215 <sub>千円</sub>	231 壬円	201 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	+7.58 %	−12. 95    %

T. S.	<b>整理番号</b> 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57																
部	<b>5</b>	る 名	市民部				所原	<b>属名</b> 長等	<b>手創作</b>	展示館			所原	禹 長	池田	勝三	
事	務事	事業名	00771	長等創作	乍展示館	維持管理	運営事業	ŧ					記り	入者	林 栄	子	
< 1		基本事	項>	<u>'                                    </u>						-							
		区分	コード				名		称						大津市	前作展示節	官条例
		方針	02		歴史、文作	化、スポ	_	重視し、多く	••	が集うる	まちを創り	.J	根	拠			
総合	計	政策	04					といって、 楽しむまちに			, , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , </u>		法章	令等			
画σ		施策	02						. 0 &	<del>,</del>			1		大津市	う文化振興と	ジョン
置付	13 (7)										関連	する		う文化振興計			
		視点	01										個別	計画			
重事   01   市民による文化・芸術の振興											7/						
関:	迪		ード				事 務	事 業 名	称				٦-	ード	_	所属名	称
事																	
															<u> </u>		
<del>- }</del>	,	会	計	枠	事	業種	別		予	算	事業	2			始其	期・終其	月
箅	Ĭ	一般	会計	管理	評価対象	事業		長等創作展	示館管	<b>管理運営</b>	事業費						
事	<u></u>																
業																	
							工芸品等	を鑑賞及び	創作す	する場を	提供する	ため、	陶芸教室	等各種	講座を	開設するな	
事業	⊭∩	ど、創作	乍展示館	として選	営する。												
概概	要																
1,30																	
雷	兴	方法	■ 古☆	÷ 🗆	指定管理	H-#-	足門禾=	1 口山2	· ·	- 禾 红	ᄆᅓᄜ	仝六八	· □ 조1	D.44 (			\
			■直宮			E伯 U	氏间安晶	£ □出資	1四1年	安讧	□ 補助	<b>並义</b> 的	□ <i>そ</i> 0	71世 (			)
< 2		事業分		P L A N		<b>★</b> 651 = ₹	プレノー名かる	ι、学び、創	たま	Ζ ‡旦 しま	継合 む †目 /	#1 3	田邦サルノ	7.公田1-	マタトオ	ス t- お	
		目 的	•	主しの「	り氏が土1	本的に又	.101~用出才	て、子ひ、剧	11F 9	る场でが	成云 を 掟1	共し、花	明郁又100	ク	- 台子 9	るため。	
		可のために		4	L A.L												
		対 象	Ę	市民等	<b>米館者</b>												
	(佢	可又は誰	を)														
	-	手 段	Ž	陶芸教室	室等各種	講座の開	設、創作	乍スペースの	貸出	しなどを	を行う。						
٤ )	どのよ	ようなやり	)方で)														
		成果	Ļ	-			作する均	易と機会を提	供し	、心豊な	いで潤いる	のあるr	市民生活や	や、個性	生豊かで	活力あふれ	,る地
ر بير (	のよう	な状態にす	するのか)	域社会	を創造する	る。											
< 3	3. 1	経費>	DO														
		1-54		平成2	28年度	平成2	9年度	平成30年月	度	平成3	1年度	令和	2年度				
					(千円)	決算額		決算額(千		予算額			(千円)		備	者 考	
	直	接経費	A	7 ( ) F 113.	5, 031	W COT IIX	7, 835		948	3 51 150	3. 046	70~11	3, 046				
		. 件費			·		-	,	080		,						
=		費合計 4			24, 970		24, 230				24, 780		21, 230				
7	*未3				30, 001		32, 065	29,	028		27, 826		24, 276				
击光	- 弗	_	E		0		0		0		0		0				
事業の財	₹現 オ源		<u></u>		0		0		0		0		0				
	訳		債		0		0		0		0		0				
		そ0	の他		3, 089		3, 318	3,	380		1, 605		1, 704				
		一般	財源		26, 912		28, 747	25,	648		26, 221		22, 572				
用	哉 .	員 数	(人)		5. 00		5. 00	5	5. 00		5. 00		5. 00				
		正	規		3. 00		3. 00	3	3. 00		3. 00		2. 00				
職員		嘱	託		1. 00		1. 00	1	1.00		1. 00		2. 00				
のゆ	刀記と	臨	時		1. 00		1.00		1.00		1. 00		1. 00				
<u> </u>	L	指標>	DO		1. 00		1.00		. 00		1.00		1.00				
		1018/		<del>1</del> ==	A		単	位	口抽	一字结	亚成28名		成20年度	正成30	)在度 亚	<sup>2</sup> 成31年度	令和 2年度
	/	特別展等	指 车開催粉	<u>標</u> (展示替	<u>名</u> <sup>[数]</sup>		<del>+</del>	lπ	_		十八人	4	<del>以23千尺</del> 3		3 3	3	0 0
	4	אַנוניניניני	可用性级		1 30.7					目標					3	- 3	- 0
活	1			44 04 0 0	3 July 10 1 1		- 14- 0	- T - W	3	実績		3	3		<u> </u>		
動				特別展開	催数もし	/くは展:	ホ物の変		r			-al				150	150
哲		講座開作		<b>估田</b>	(に変更)			件		目標		50	50		50	150	150
175	2	(113	1、黄王	医用叶剪	(1) 友丈/			''	5	実績		57	64		52	-	-
				種講座開	催 平原	<b>戈31年</b>	度より主	催講座廃止	により	り貸室使	用件数に	変更す	る。				
活動指標成果指標		入館者数	· 数	<del></del>						目標	3,	500	3, 000	3	3, 000	2, 500	2, 500
ьt	1							人		実績	2,	221	2, 519	2	2, 518	-	_
<b>以</b>		常設展表	トへの入	館者数										•			
指		講座参加						_	F	目標	2	000	2, 000	2	2, 000	2, 500	2, 500
				士 四	(に変更)			人		ᅴᆥ		845	1 971		2 152	_, 500	۵, ۵۵۵

1, 845

各種講座参加者数。H31年度より主催講座廃止により貸室使用者数に変更する。

1, 971

2, 152

事業を明 社会環境	メソムヽ	市民生活の原点であ 社会において必要な	る共存の心、豊かな感性を育む環境を提供する文化施設は、人間関係の希薄化している現在 施設である。
			市民ニーズに応じた主催講座を企画し、受講者の増加が図れたが費用対効果を考慮すれば更 る。展示室においては、定期的に展示替を行うほか随時新企画を実施し集客を図っている。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)		ぎ妥当である まり妥当ではない	教室の受講者は幼児から小学生、年配者と幅広く受講されており、市民の文化、芸術に親 しめる環境づくりに寄与している。また、美術館の来館者は65%が市外からの来館者で あり、観光都市の一翼も担っている。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あま	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	創作室の稼働率は高い水準(稼働率60%)であり、講座受講者も増加し、豊かな市民生活に貢献している。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	□ A. 高ル ■ B. やれ □ C. やれ	o高い o低い	集客のため美術館内でミニコンサート及び三橋節子ゆかりの方によるギャラリートーク等 を随時実施、創作室では市民ニーズに適応した講座の開催など効果的な事業を推進してい る。
総合評価		画どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	

	■ A. 貢献している	人間愛、親子愛をテーマとしている絵画を鑑賞すること、同じ趣味を持った仲間と集う場
WONE OF	□ B. やや貝臥している	所を提供することにより、豊かな感性を育み、潤いのある市民生活を営むことに貢献している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	V -00
	□ D. 貢献していない	

<6. 今	後の方向性> ACTION
	□ 1. 現状のまま継続 ■ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 ■ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他 )
方向性	. □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 ( ) □ 5. 休止 □ 6. 廃止
力问住	多くの市民に鑑賞及び創作する場と機会を提供し、豊かな心を持つ人間形成に必要な施設であるが、費用対効果を念頭に講座のあり方を検討する。
部局長コメント	TO THE COUNTY OF COUNTY AND A COUNTY OF THE

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	63. 45 %	83. 96 %	83. 93 %
達成率	指標2	92. 25 %	98. 55 %	107. 60 %
成果	指標1	- %	+13.41 %	-0.03 %
増減率	指標2	- %	+6.82 %	+9.18 %
活動単位	指標1	10,000 千円	10,688 千円	9,676 千円
コスト	指標2	526 千円	501 千円	558 千円
成果単位	指標1	13 千円	12 千円	11 千円
コスト	指標2	16 千円	16 千円	13 千円
コスト増	減率	- %	-2.86 %	-13. 25 %

### 亚式21年度 東敦東業証価シート

		_		, →	一及ら	一年	支 尹	作分	尹未	计计点:	コンート		L半成	30年度	事後評価	1]
整理	番号	5	58													
部	る 名	市民部				所属	属 名 仰オ	た太支	<b>支</b> 会館		所	属長	正木	充夫		
事務事	<b>事業名</b>	00775	仰木太鼓	支会館管:	理運営事	業					記	入者	正木	充夫		
<1.	基本事	項>														
	区分	コード				名		称					大津	市仰木太	技会館条例	
	方針	02	自然、歷	を を を と 、 文	化、スポ	゚゚゚゚゚゠゚゚゚゚゚゚゚゠゚゚゚	重視し、多く	の人	が集うす	きちを創		拠				
総合計	政策	04					美しむまちに				——————————————————————————————————————	令等				
画の位置付け	施策	02	文化・芳	き術に親	しめる環	境づくり	.)						大津	市文化振	興ビジョン	<del>,                                    </del>
直刊()	視点	01		芸術の感								する	・大	津市文化	<b>辰興計画</b>	
	重事	99	その他   個別計画   日本の   日本													
		<u>-</u> ド	C 47 12			事 務	事 業 名	称				ード		所属	名 称	_
関連	_	•				T 100	<del>-</del>	11131			_	'		171 11-21	H 10.	
事業																
	<u> </u>	計	枠	重	業種	민		予	算 事	業	L 名		₩ ₩	期・終	#A	_
予		会計		評価対象		נינ/	/m +- ^ -	_			11		70	757 小3	771	
算事	刊文	云司	官垤	計画列系	<b>K</b> 尹 未		仰木太鼓会的	館官:	<u> 理理</u> 呂事	<b>美</b> 賀						
業																
	/m <del>+ +</del> ±	10部11	十油士	化中無耳	2.民/公立	ルサズキ	Z/M++±	<b>小</b> /早:	友レ洋田	去図日	地域の歴史おる	- 1 ( <del>)</del> /	トのIII 677	大沢みて	担	
											・地域の歴史の。 D適正な管理を行			で体のる	物	
事業の		~_ <b>.</b>							_ , - 0 -	,,,,,,,,	• 12 - 2 - 1		•			
概要																
	方 法	■ 直営			里者 ■	民間委託	f 口出資	<b>登団位</b>	<b>季託</b>	□ 補助	か金交付 □ その	の他	(			)
<2.	事業分		PLAN		= //2	<b>.</b>	7 728 1 1 2 2	<b>—</b>			- IT //					
	目 的		大洋巾 扫	旨正無形	氏俗又化	「財である	6仰木太鼓の	保仔	と活用を	1凶る場	の提供					
	「のため」			_												
	対 象		市民一船	<b>发</b>												
	又は誰															
	手 段	-	施設の通	題正な管:	理等、仰	木太鼓0	D練習、住民	の集	会等のた	こめの場	所の提供に関す	る事業	を行う			
	ようなやり															
	成 集	<del>ļ</del>				対である	る仰木太鼓が	継承	されると	こともに	、仰木地域の歴	史及び	文化への	り理解が没	₹まり、	
(どのよう	な状態にす	するのか)	巾氏又1	とが向上	୨ ବ 											
<3.	経費>	DO														
			平成2	8年度	平成2	9年度	平成30年	度	平成3	1年度	令和 2年度			備	 考	
			決算額	(千円)	決算額	(千円)	決算額(千	円)	予算額	(千円)	見込額(千円)			иm	,	
直	接経費	Α		2, 121		2, 300	2,	504		2, 096	2, 026	3				
人	件費	В		939		1, 426	1,	430		1, 535	820	)				
事業領	貴合計 4	4 + B		3, 060		3, 726	3,	934		3, 631	2, 846	6				
		玉		0		0		0		0	(					
事業費	ļ	杲		0		0		0		0	(	)				
の財源 内 訳	起	債		0		0		0		0	(	)				
אַה ניין	その	の他		69		56		69		50	50					
		財源		2, 991		3, 670	3.	865		3, 581	2, 796	_				
職	員 数	(人)		0. 20		0. 30		). 30		0. 25	0. 10	•				
	正	規		0. 10		0. 10		). 10		0. 15	0. 10	1				
職員数	嘱	託		0. 10		0. 20		). 20		0. 10	0. 00					
の内訳	臨	時		0. 10		0. 20		). 00		0. 10	0. 00	_				
<4.	指標>	DO	•			3. 50					3.00					_
		指	標	名		単	位	日垣	■・宝繕	平成.284	∓度 平成29年度	平成3	0年度	平成31年	度 令和 2年	王度
	施設利用		小木	711					日標		270 270		270	27		270

		10100											
		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度				
		施設利用件数	件	目標	270	270	270	270	270				
活動指標	1		IT .	実績	249	209	206	-	_				
動		<b>目間利用件数(実績)</b>											
指		施設利用人数	ı	目標	9, 500	9, 500	9, 500	9, 500	9, 500				
悰	2		^	実績	8, 919	7, 757	7, 042	-	_				
		年間利用人数(実績)				•							
		年間利用件数率	%	目標	100	100	100	100	100				
成果指標	1		70	実績	92. 2	77. 4	76. 2	ı	_				
果		年間利用件数(実績)÷年間利用件数(	目標) × 1 0 0										
指揮		年間利用人数率	%	目標	100	100	100	100	100				
悰	2		70	実績	93. 9	81. 6	74. 1	ı	_				
		年間利用人数(実績)÷年間利用人数(	目標)×100		•		•						

事業を耳 社会環境			し、誇りの持てるまちづくりを目指して、太鼓会館隣接地を自治連合会が取得し、仰木地区 業が進められている。
これまで や改善等			する利用を優先しつつ、住民の福祉向上に寄与する利用など、会館利用の広報活動を行い、 ている。近隣住民からの太鼓の音の苦情は現在は収まっている。
項目別評価	評	<u>·</u> 価	評 価 理 由
妥 当性 (実施主体又は	■ A. 妥 □ B. ほ	当である ぼ妥当である	市指定無形民族文化財である仰木太鼓の保存と活用を図り、地域文化の発信施設、住民交 流の拠点であることから市が実施主体で妥当である。
手段は妥当か)		まり妥当ではない 当ではない	
有効性	□ A. 上:	がっている	地域住民が歴史や文化を継承し、活気ある地域文化を高めるために、有効な場の提供であ
(事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている	■ B. や	や上がっている	<b>వ</b> .
	□ C. あ	まり上がっていない	
か)	□ D. 上:	がっていない	
÷1 ÷	□ A. 高	l,	地域による管理運営を委託しており、効率的な経費支出が図られている。
効 率 性 (事業手法は効	■ B. や	や高い	
<u>率的である</u> か。)	□ C. や	や低い	
75.0	□ D. 低	l,	
総合評価	■ 1. 計	画どおり事業を進める	ることが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
₩0 口 □T IIII	□ 3.事	業規模や見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	□ A. 貢	献している	地域文化の拠点となっており、地域住民のふれあいの場となっている。
施策への	■ B. や	や貢献している	
貢 献 度	□ C. あ	まり貢献していない	

# □ D. 貢献していない <6. 今後の方向性> ACTION

<u> </u>	MUNICE ACTI	011					
	■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上	で継続(	□ 2-1. 扨	な充・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合	□ 2-6. その他	)			
方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了(		) [	□ 5. 休止	□ 6. 廃止	
7) III II	大津市無形民族文化財でる	ある仰木太鼓の保存と	活用を推進する	るために仰	木太鼓保存会	との連携を図るとともに	、地域住
	民の利用を促進するため、	地域関係団体への積	極的な広報活動	動を通じて	、会館利用率	の向上を図る。	
	施設設置の目的を踏まえ、					·進め、伝統文化を次世代	に継承す
部局長	る活動を促すとともに、均	也域に根ざした交流の	拠点施設として	て運用して	いくこと。		
コメント							

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	92. 20 %	77. 40 %	76. 20 %
達成率	指標2	93. 90 %	81.60 %	74. 10 %
成 果	指標1	- %	-16.05 %	-1.55 %
増減率	指標2	- %	-13.09 %	−9.19 <b>%</b>
活動単位	指標1	12 <sub>千円</sub>	17 千円	19 千円
コスト	指標2	0 <sub>千円</sub>	0 <sub>千円</sub>	0 <sub>千円</sub>
成果単位	指標 1	33 <sub>千円</sub>	48 <sub>千円</sub>	51 千円
コスト	指標2	32 <sub>千円</sub>	45 <sub>千円</sub>	53 千円
コスト増	減率	- %	+42.57 %	+11.75 %

				<u> </u>	成31年	<b>萝 事務</b>	事業評価	ラシート		[平成30年度事後	と評価]
整理	番号		54								
部 局 名 市民部					属 名	<b>青少年課</b>		<b>禹長</b>	吉田美紀		
			伝統芸能	会館管理	理運営事業			記り	人者	河村 正人	
<u>&lt;1.</u>	<1.基本事項>										
	区分	コード			名	称		根	拠	大津市伝統芸能会	館条例
<b>₩Δ</b> ₹	方針	02					、が集うまちを創	り 法 <sup>4</sup>	令等		
総合計画の位	総合計 政策 04		-			楽しむまちにしま	す				
置付け	施策	02		術に親し	しめる環境づくり	·)		問連	する	第2次大津市文化ジョン、第2次大	
	視点	99	その他						計画	化振興計画	<b>本山文</b>
	重事	99	その他								
関連		ード			事務	事業名称	i		ード	所 属 名	称
事業											
										<u> </u>	
予		計	枠	_	業種別	ਤੋਂ	算 事 業 :	名		始期·終期	
算	一般	会計	管理	評価対象	事業	伝統芸能会館管	理運営事業費				
事業											
<i>&gt;</i> \.	AE W + I	ㅗ IV ᅜ +#	'a' 4= 13	¥ 181- #	F 学 芸学えの小	-	7 ATT (# 17 AT	な ウンドナマーマ	- ++- др	文化の伝承と創造	
事業の概要		を図って									
	方 法	口 直営	<b>i</b> ■ :	指定管理	■者 □ 民間委託	€ □ 出資団	本委託 🗆 補助	金交付 口 その	)他 (		)
<2.	事業分	析> 1	PLAN								
	目 的	5	伝統芸能	の普及の	と啓発のため						
	可のため										
	対		利用者を	利用者を対象に							
	可又は誰										-110
手 段 市民の伝統芸能活動の拠点としての施設を充実させ、能や狂言等の自主事業の開催及び市民団体へので (どのようなやり方で) 行うことにより						F民団体への貸館事事	<b>集を</b>				
成果伝統芸能活動を通じての市民文化を向上させる。											
(どのよう	(どのような状態にするのか)										
<3.	<3. 経費> DO										
			平成28	8年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度			
			決算額	(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)		- HI	
	直接経費 A			19, 610	20, 856	18, 999	16, 645	16, 478	平成 1	9年度指定管理者制	度開始
人 件 費 B			2, 025	902	902	902	902				
事業	費合計			21, 635	21, 758	19, 901	17, 547	17, 380			
		玉		0	0	0	0	0			

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成が平度	令和 Z年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	加
直接経費 A		19, 610	20, 856	18, 999	16, 645	16, 478	平成19年度指定管理者制度開始
人 件 費 B		2, 025	902	902	902	902	
事業費	貴合計 A+B	21, 635	21, 758	19, 901	17, 547	17, 380	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源 内 訳	起債	0	0	0	0	0	
1 3 11/	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	21, 635	21, 758	19, 901	17, 547	17, 380	
職	員数(人)	0. 25	0. 11	0. 11	0. 11	0. 11	
마 무 **	正規	0. 25	0. 11	0. 11	0. 11	0. 11	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
JU/	臨時	0. 00	0. 00	0. 00	0.00	0.00	
4.4							

# 

<u> </u>										
	/	指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
		能舞台利用件数	<i>II</i> +	目標	300	300	200	200	200	
汪	1		件	実績	167	191	170	-	-	
活動		能舞台利用件数								
指		和室及び会議室利用件数	件	目標	2, 700	2, 700	1, 900	1, 900	1, 900	
標	2		1+	実績	1, 443	1, 604	1, 611	-	1	
		和室及び会議室利用件数								
		能舞台利用率	%	目標	40	40	60	60	60	
成果指	1		70	実績	50	58. 4	51. 3	-	1	
果		能舞台利用件数÷利用可能日数								
指		和室及び会議室利用率	%	目標	70	70	80	80	80	
標	2		70	実績	72	81.8	81. 1	-	1	
		和室及び会議室利用件数÷利用可能日数								

事業を取りまく 社会環境の状況 ある。			び進む中、幅広い世代が伝統芸能に触れる機会を提供し、伝統芸能を次世代に継承する取り組みが必要で					
	の見直し 等の経過	能舞台でのクラシッ いる。	クコンサートなど、自主事業における新たな取り組みを実施し、新規利用者の増加に努めて					
項目別評価	評	価	評 価 理 由					
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あ	当である ぽ妥当である まり妥当ではない 当ではない	市が実施主体であることで、低廉な価格で幅広い世代に利用され、活発に文化活動が行われていることから、妥当である。					
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あ	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	指標である能舞台の利用率は昨年度と比べ若干下がっているものの、有効性は高い。					
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高( □ B. や・ □ C. や・	や高い や低い	指定管理者の民間ノウハウを活用した事業を展開し利用率も高く推移しており効率性も高い。					
総合評価		画どおり事業を進める 業規模や見直しが必要						
	■ A 青	献している	質の高い能楽公演を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与しており、総合計画に掲げる					
総合評価		業規模や見直しが必要	日 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要					

NE > C		質の高い能楽公演を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与しており、総合計画に掲げる  「文化・芸術に親しめる環境づくり」に貢献している。 
	L D AWCCORO	

<6. 今後	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他 )
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 ( □ 5. 休止 □ 6. 廃止
7) III II	今後も伝統芸能の伝承と創造、発信に努め、市民文化を向上させる施設となるよう指定管理者と協議し指導していく。
	指定管理者の民間ノウハウを活かした効率的な施設運営を図るとともに、伝統芸能の普及に努めている。能舞台を有す
部局長コメント	る、伝統文化の拠点施設として、能や狂言などに親しむ市民の裾野を拡げるよう取り組まれたい。
コメント	

区分	<del>'</del>	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	125.00 %	146.00 %	85. 50 %
達成率	指標2	102.85 %	116.85 %	101.37 %
成 果	指標1	- %	+16.80 %	-12.15 <b>%</b>
増減率	指標2	- %	+13.61 %	-0.85 %
活動単位	指標1	129 千円	113 千円	117 千円
コスト	指標2	14 <sub>千円</sub>	13 千円	12 千円
成果単位	指標1	432 <sub>千円</sub>	372 千円	387 千円
コスト	指標2	300 千円	265 千円	245 千円
コスト増	減率	- %	-12.68 %	-1.81 %